

復興へ・・・ 被災地の現実



(上)石巻市称法寺様本堂

がれきは片づいたが、本堂は柱を残したまま。本堂横の門徒会館で法要をお勤めするが、本堂再建のめどは全く立たないという。



(左)南相馬市光慶寺様本堂内

去年4月から日中の立ち入りができるようになったが、震災後ずっと本堂は風雨雪による雨漏りが深刻で、手前ビニールシートに全てをまとめ、内陣には何も無い。

(2013年6月19日)

ようこそ

第 28 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL 097-527-6916

FAX 097-527-6949

お寺の日常、お寺のちから

東日本大震災では多くの寺院やご門徒も被災されました。このたび石巻市称法寺様、仙台市専能寺様、南相馬市光慶寺様にお参りして、当時の様子や今後のことについてお話を聞きました。

専能寺様では、住職・坊守・前坊守・門徒総代さんが揃って迎えてくれました。ご住職のお話を聞いて、お寺のちからというのを強く思いました。

海に近いお寺で、津波で集落一帯が飲みこまれお寺は残ったということでした。74人のご門徒が亡くなり、今も5名の方が行方不明で多くの方々が仮設住宅などに避難しているとのことでした。

そうした状況のなかでご院家さんがまずやろうとされたのが、十三日の常例法座の再開だったことです。震災翌月の四月十三日に常例法座を開くことを目標に、ご門徒皆さんと心が一つになり、ボランティアの協力もいただいて、流れてきた家の木材や土砂でいっぱいだった本堂や庫裡、境内のがれき撤去が始まったといっています。

そして四月十三日にご門徒皆さんと一緒にいつものお正信偈のお勤めができたこと、今も感激の面もちで熱く語ってくださいました。以来毎月十三日のご法座を続けているとのことでした。

いつものことです。日頃されていることをさねたという事です。お寺の日常です。ご門徒と共にある日常です。ご門徒も多く被災避難して、バラバラな状況のなかでも、一処に帰れる、一緒に帰るお寺があるという安心です。そこにはご院家さんがいます。坊守さんがいます。お念仏の仲間がいます。阿弥陀如来の御尊前に共に座してお礼をさせていただける。お念仏を心の支えにして復興への歩みを進めていただきたいと思います。

お念仏のこうろで 私にできることをさせてください

被災地で思ったこと

東日本大震災から二年三カ月余り経って、初めて被災地を訪ねました。宮城県南三陸町から福島県南相馬市までの行程です。テレビや新聞等々で何度も報道されて見聞きしていますが、実際に行って見て思ったことは、がれきが撤去され広い更地になったところに、以前は集落があつて多くの人が日暮ししていたと言われて、全く想像が出来なかつたということ。集められたがれきの山のそばを何台もトラックが縦横に走り、重機が点々と目立ちました。生活する人の姿は殆ど見ることはできませんでした。町中の広い運動公園に



女性職員が最期まで住民に避難を呼びかけ続けた南三陸町防災センター。広い更地に立つむき出しの鉄骨が何とも痛々しい。

仮設住宅がつくられ、避難された方が多く生活しています。「復興半ば」と言われますが、まだまだ大変厳しい状況です。



すぐそばを流れる北上川にそって津波が押し寄せ児童・教職員84人が死亡・行方不明となった石巻市大川小学校。たくさんのお花やジュース・お菓子が供えられていた。

何ができる？

ボランティアで被災地に行つて活動することもたくさんあります。そうした活動を支援していくことも必要です。これから継続して義援金・支援金をお届けしましょう。

東北に笑顔をおくりましょう

心のケアとして、お茶会や居室訪問活動があります。仮設住宅でのお茶会やお寺のご法座に大分のお菓子をおくりましょう。お菓子は笑顔をはこびます。



南相馬市内のようす。原発事故による避難指示がずっと続き、崩壊した家屋もそのまま、草は伸び放題で、津波で流された車が今も点在する。

今回、本願寺仙台別院(東北教区ボランティアセンター)や被災ご寺院に「白杵せんべい」を持参して大変喜ばれました。

災害ボランティアに 登録しましょう

自然災害はいつわが身のところで起きるかわかりません。近年南海トラフ地震の勃発が言われます。災害への備え、災害発生時の対応について、常日頃から心してできることをしておくことが必要です。今、本山・大分教区で災害ボランティア登録者を募集しています。わが寺だけのことはなく、広くボランティアネットワークを通じて、お互いに支え合い助け合う活動を進めてまいりましょう。詳しくはお寺のご縁でお話をさせていただきます。またお寺にお問い合わせください。

世々生々

今回の参議院選挙は衆参両院のねじれ解消か否かが大きな焦点だ。国会は立法の府で、行政府などが提出した法案を審議議決する。国民から選ば

れた衆参各院議員の過半数の賛成が必要だ。国民主権の民主主義に多数決の意味は重い。決まらない政治から決める政治へと、今与党が勢いづく。前与党はマニフェスト(選挙公約)になかった消費増税法を数の力で決めた。選挙が終われば永田町の論理で、国民が頼みもしないことまで決められては、政治不信も根深い。◆私たちが構成する社会にも決めるべきことがある。お互いに意見を出し合い話し合いで決めればよいが、最後は多数決で決めることもある。その過程で大事にすることがある。少数意見の尊重だ。小さな聲に耳を傾けていく。そこに成熟した社会が、真の民主主義が展望される。◆阿彌陀さまは十方衆生を必ず救うとおはたらきた。十人は十人、百人は百人ながら漏らさず救うと蓮如さまの御文章をいただく。阿彌陀さまのおしごとには多数をめぐめてのものではなく、私たち一人一人に、この私に南無阿彌陀仏と寄り添って、共に歩んでくださる力強いものである。

お朝事「法話」より

「よい人生だったよ」

昨日、別府のお寺の門徒総代をされていた方のお葬式にお参りしました。いつもはご門徒のお葬式で住職導師というお役目でお勤めすることですが、一般の方と同じように参列しました。亡くなられた方は96歳で周りのお友だちも少なくなり、喪主の長男の方も県外に居られるという事で関係者のお参りも少なく、少人数のお葬式でしたが、心温まるご縁をいただきました。式中に曾孫さんのお別れの言葉がありました。焼きいもをストープでつくる名人で、楽しみだった、美味しかったというお



満開の桜の下、お花見ウォーキングを楽しみました(4月3日)



円成会七夕飾りをつくりました(7月1日)

話です。初めて聞く故人の人名りが偲ばれて、よかったです。最後に喪主の挨拶がありました。病院で最期にこう言ってくれたとお話しされました。長男の名前をよばれて「よい人生だったよ」と。たった一言、「よい人生だったよ」と。喪主はそのまま涙して挨拶は終わりました。いいですね。私も最期に「よい人生だったよ」と言えたらいいなあと思います。子どもに、後に続く人におくる言葉です。よい人生とは、自分の思い通りになったとか、他の人と比べて善いとか悪いとかいうことではありません。その人の96年の人生には色んなことがあったと思います。大正・昭和・平成と激動の時代を生きて、戦争もありました、苦しいこと、辛いこと、それこそ心の奥底にしまいこんで家族にも言えないこともあったかもしれせん。そうし

ご案内

◆子ども会サマースクール

8月 2日(金)~3日(土)

◆初盆会・盆おどり大会

8月12日(月) 19:00~21:00

◆全戦没者追悼法要

(平和を願う鐘つき)

8月15日(木) 11:00~12:00

◆秋彼岸会

9月21日(土) 11:00~14:00

同 19:30~21:00

9月22日(日) 13:30~15:00

◆敬老会

10月 1日(火) 11:00~13:00

◆常例法座

10月16日(水) 10:00~11:30

“月に一度は
お寺参りしましょう”

※詳しくは「寺通信」でご確認ください。

お朝事にお参りしましょう
▲毎朝6時30分~7時V

たこの世の中の善い悪いを超えて「よい人生だったよ」と締めくくれる。仏さまのお育てをいただいた人の言葉だと思えます。親鸞さまのご臨終は「口に世事をまじへず、ただ仏恩のふかきことをのぶ。声に余言をあらはさず、もつばら称名たゆることなし。しかうして(中略)つひに念仏の息たえをはりぬ(御伝鈔)」と伝えられます。苦難のご生涯をお念仏一筋にお浄土へのよい人生だったといただきます。「よい人生だったよ」という言葉には、あなたもよい人生を生きてほしいという親から子への願いがあります。どうか仏さまのご縁に遇うて、仏法を聞いて



町角伝道掲示板
(6月のことば 出町、田仲進・澄枝ご夫妻)

くれよ、お念仏申す身になって、ままならない人生だけれども、往生浄土の道を歩んでほしい、そしてまた阿弥陀さまのお浄土で会いましょうという親の願いです。南無阿弥陀仏の親さまの大きな願いに生かされて生きてまいりましょう。(4月26日)

長い間ありがとうございました

これからもお寺を支えてください

昭然前任職の時から総代としてお寺の護持発展にご尽力いただいた、清松博人さん、大津智生さん、橋本利男さんが退任され、昨年急逝された岩崎勉さんの四人に代わって、新しく岩崎輝雄さん、若杉忠義さん、三浦利文さん、田仲進さんが円光寺門徒総代に就任されました。

若い行動力とチームワークで、住職をたすけお念仏繁盛のために率先して「お寺参りの総代さん」になってほしいと思います。



新旧総代の皆さん (5月19日)
 (前左から) 新院、大津さん、住職、清松さん、岩崎さん
 (後左から) 田仲さん、三浦さん、若杉さん

仏教婦人会の役員改選で、橋本玲子会長に代わり、上野信子さんが新会長に、中澤レイ子

さんが副会長に、御手洗瀧枝さんが会計に選出されました。これからよろしくお願いします。



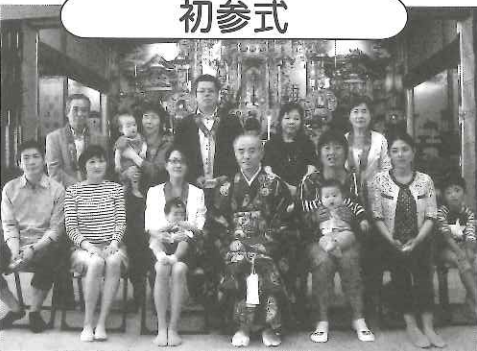
橋本前会長をかこんで(5月18日)
 (左から) 坊守、中澤さん、上野さん、御手洗さん

花まつりの会



お釈迦さまのお誕生をお祝いして白象パレードをしました(尋声寺様前、4月7日)

初参式



阿弥陀さまの御尊前で(左から)三浦ふきさん、山村ももよさん、岩崎だいもんさん



ほれぼれと仏法聴聞 帆足一洋講師(玖珠町光林寺住職) (5月19日)

新一年生を祝う会



本堂特設花御堂の前で(左から)油布りさん、油布みさん、大平しょうえいさん、吉村ひなのさん

親鸞聖人降誕会法要



本願寺別府別院の報恩講にお参りして、手作りのお齋(写真下)をおいしくいただきました。(4月15日)

あとかき

早々に梅雨が明け、朝から蒸し暑い。本堂でお朝事のお勤めをする。お縁から風がすーっと入ってくる。何とも心地よい。風はこの目には見えないが、この身に確かにはたつき感じる。お浄土の仏さまのおはたらきもこの目には見えないが、この私の口に南無阿弥陀仏の声となつて届いてくださる。お浄土から風がふく。「まかせよ、救う」と風がふく。今日も一日、色んなことがあるだろうが、お念仏申して始められる、あなたが一緒のこの身の幸せをさわやかに有難く思う。